



令和3年9月28日

10月発行が決定

自治体初となる『サステナビリティボンド』を発行します (愛称：『北九州市 SDG s 未来債』)

機関投資家向け 100億円 個人投資家向け 5億円

1 サステナビリティボンドの発行について

本市は、「北九州市 SDG s 未来都市計画」で掲げる、SDG s 戦略（ビジョン）達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として、自治体初となるサステナビリティボンドを発行します。

ESG 債のイメージ

E 環境対応
Environment
S 社会貢献
Social
G 企業統治
Governance

サステナビリティボンドとは、ESG 債の一種であり、グリーンボンド、ソーシャルボンドの両方の特徴を併せ持つ債券。特徴として、インパクト（改善効果）に関する情報の公表や第三者機関による評価が求められる。

グリーンボンド
環境改善効果

両方の特徴を併せ持つ債券 サステナビリティボンド

- 再生可能エネルギー（洋上風力発電関連事業）
- 気候変動への適応（豪雨災害等から市民を守るための防災対策）
- 汚染の防止及び管理（廃棄物処理関連事業）
- 自然環境の保全（公園整備事業）
- エネルギー効率（公共施設の省エネルギー化の推進）
- 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境整備（特別支援学校、総合療育センター、子ども総合センター、保育所、小中学校、新科学館の施設整備など）

ソーシャルボンド
社会的課題の解決

「北九州市 SDG s 未来都市計画」で掲げる SDG s 戦略（ビジョン）達成に向けた取組を推進するための事業に活用します。



洋上風力発電関連事業



特別支援学校の整備



豪雨災害等から市民を守るための防災対策事業



新科学館の整備

2 発行概要

「**機関投資家向け**」の発行に加えて、市民、市内の企業・団体、本市を応援する個人、法人等も購入できる「**個人投資家向け**」の発行を行うことで、市政への参画、SDGsの「理解・浸透」に繋がっていきます。

【機関投資家向け】

銘柄名称	第1回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債
年 限	10年（満期一括償還）
発 行 額	<u>100億円</u>
利 率	未定
発行時期	10月下旬
主幹事会社	みずほ証券株式会社（事務）、SMBC日興証券株式会社
購入対象先	機関投資家

【個人投資家向け】

銘柄名称	第1回北九州市サステナビリティボンド5年公募公債（個人向け）
年 限	5年（償還日 令和8年10月28日：満期一括償還）
発 行 額	<u>5億円</u>
利 率	年0.05%（税引き前）（下限）※詳細は、10月6日ごろ市HP等で発表
発行時期	10月28日（木）
募集期間	10月8日（金）～22日（金）
購入限度額	お一人様1,000万円まで（1万円から1万円単位）
購入対象先	①北九州市内にお住まいか、お勤めの個人 ②北九州市内に事業所等のある法人・団体 ③北九州市を応援する個人・法人等

3 サステナビリティボンド・フレームワーク（基本的枠組み）

調達資金の使途、充当する事業の選定プロセス、調達資金の管理方法、改善効果の実績などについてのフォローアップ方法等について、フレームワークを作成しています。

4 第三者機関による評価取得

株式会社格付投資情報センター（R&I）より、「北九州市サステナビリティボンドについて、国際資本市場協会（ICMA）が公表している「グリーンボンド原則2021」、「ソーシャルボンド原則2021」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」等に適合していることについて、評価を取得しました。

※北九州市サステナビリティボンド・フレームワーク、充当事業及び第三者機関による評価書については、下記の本市ホームページにて公開しています。

〈URL〉 <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/zaisei/09000315.html>

〈QRコード〉



5 「北九州市サステナビリティボンド」活用プロジェクト及び想定される効果

	分類	事業内容	想定される効果
グリーンプロジェクト	・再生可能エネルギー	・風力発電関連産業の総合拠点化	・温室効果ガスの排出削減
	・気候変動への適応 (豪雨災害等から市民を守るための防災対策)	・河川、上下水道 港湾、道路の整備 ・災害時の情報収集・伝達体制の整備（総合防災情報システム構築）	・水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和 ・水災害など発生時における安全・安定的な水道インフラの供給 ・汚水の放流先の汚濁負荷低減 ・自然災害からの被害の予防
	・汚染の防止及び抑制	・ごみ処理施設等の整備	・大気汚染物質の排出削減 ・水質汚染物質の排出削減
	・生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	・地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり (公園整備等)	・干潟の環境維持 ・多種多様な希少生物の生息地の保全
	・エネルギー効率	・公共施設の更新・改修 (グリーン、省エネ)	・温室効果ガスの排出削減 ・エネルギーの利用削減
ソーシャルプロジェクト	・必要不可欠なサービスへのアクセス	【子育て・教育環境の整備】 ・特別支援学校 ・総合療育センター ・子ども総合センター ・保育所 ・小中学校 ・新科学館等	・誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備
	・基本的インフラの整備	・区役所の自家発電設備整備 ・避難場所、消防施設等の整備・改修	・防災機能の強化等

【お問い合わせ先】

北九州市財政局財政課 徳永（課長）、岩崎（係長）

TEL：093-582-2003